<フィリピン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2024 年 8 月 15 日

フィリピンの 2024 年第 2 四半期 GDP 成長率は 6.3%

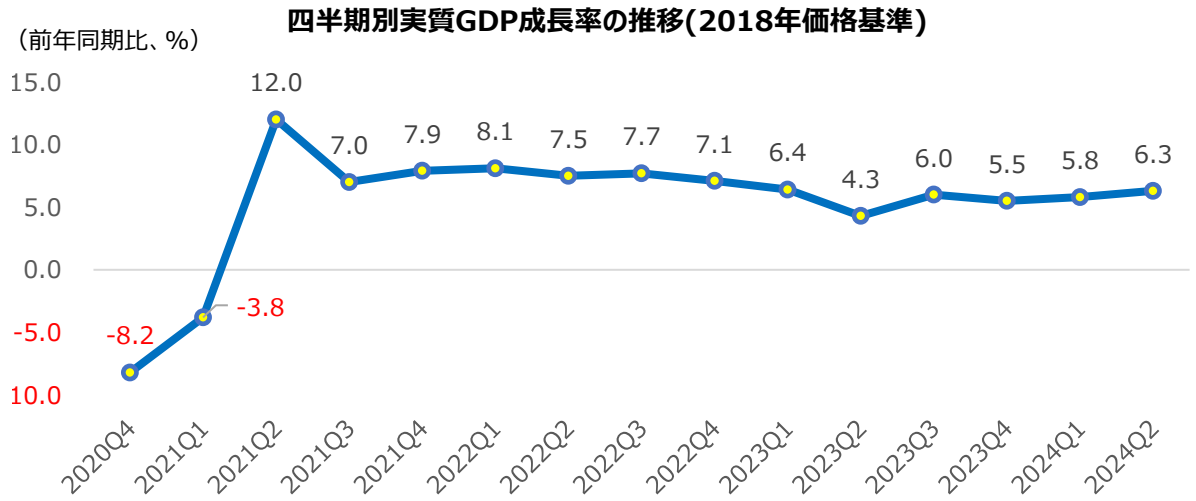
フィリピン統計庁(PSA)によれば、2024 年第 2 四半期の実質国内総生産(GDP)成長率は前年同期比 6.3%となった。第 1 四半期の同成長率は 5.7%から 5.8%へと改定された。2024 年第 2 四半期における 6.3%という成長率は、ベトナムの 6.9%には及ばないが、マレーシアの 5.8%、インドネシアの 5.1%、中国の 4.7%を上回り、同国経済の堅調さを示すものであった。

第 2 四半期の成長に貢献したのは、建設業で前年同期比 16.0%の成長率であった。商業(卸売/小売業/自動車・オートバイの販売・修理等)は同 5.8%、金融業は同 8.2%の成長率であった。主要な経済部門では、製造業等鉱工業の成長率が同 7.7%、サービス業が同 6.8%とそれぞれ高成長を示したが、農林水産業はエルニーニョ現象の悪影響により同 2.3%の減少となった。

需要側では、家計の最終消費支出が前年同期比 4.6%増加した。さらに、政府の最終消費支出が同 10.7%増、総固定資本形成が同 11.5%増であった。なお、商品・サービスの輸出が同 4.2%増と成長に貢献した。輸入は同 5.2%増であった。政府の最終消費支出の増加は、さまざまな社会保障、医療、教育プログラムの実施と対象拡大、そして 2025 年に予定されている選挙の準備活動によって促進された。

2024 年 1～6 月期の平均 GDP 成長率は 6.0%である。フィリピン政府は、2024 年通年の GDP 成長率目標を 6.0～7.0%、2025 年については、6.5～7.5%、2026～2028 年にかけては 6.5～8.0%と設定している。なお、アジア開発銀行では、フィリピンの 2024 年 GDP 成長率を 6.0%、2025 年の同成長率を 6.2%と予測している。

四半期別実質GDP成長率の推移(2018年価格基準)



出所：フィリピン統計庁(PSA)、フィリピン中央銀行(BSP)、開発予算調整委員会(DBCC)

以上

免責事項
当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。